

令和 5 年 第 4 回定例会一般質問

| 順序 | 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 答 弁 者 |
|----|-----------|--------------|--|-------|
| 1 | 横 田 喜 世 志 | 1. 職員の教育について | 先日、懲戒処分の公表がされました。当人の処分はわかりませんが、管理職としての職員の指導、管理も重要だと思います。 今後、不祥事をおこさないためには、職員教育の徹底が必要と思いますが、考えを伺います。 | 町 長 |

| 順序 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|------|------------------------------|--|-----------|
| 2 | 三澤公雄 | 1. 町民の新庁舎等建設事業についての理解は浅いと思う。 | <p>まずは、率直に伺う。6月5日に行われた“新庁舎”の町民説明会は、成功だったと思っていますか。来訪した町民の方々に“真意”は伝わった！と思いますか。今の町長の“とらえ方”を伺う。</p> <p>私は、このままスケジュール有りき！で進んでいくのは、とても危険だと感じている。“次善の策”を講じることはできないものだろうか。</p> | 町長 |
| | | 2. 通学路の安全確保と主権者教育 | <p>ここ数年の“ゆめ議会”において、通学路の安全が訴えられている。前向き答弁はされているが、具体的な取り組みが見られないので2点伺う。</p> <p>① 通学路の安全確保や市街地以外での街灯の充実は、あきらめるべきか？</p> <p>② 年に一度の行事的な取り組み(取り組んでいる方々には感服しています)ではなく、恒常的に子ども達(未来の有権者)の声が反映される仕組みを作るべきだ。</p> <p>例えば、児童会・生徒会という学校内自治の活動を、実際に行われている大人の自治活動と結びつけてはどうだろうか？既存の仕組みなので新たな負担は最小だろうし、何より「子ども達の学校生活の延長にまちづくりが見えてくる！」というイメージが湧く。</p> <p>児童会・生徒会が汲み上げた意見を、行政・議会がガッチリ受け止める仕組みができたなら、子ども達も役員もヤリガイが生まれるだろうし、選びがい、声の発しがいも生まれるだろう。まさしく生きた主権者教育ではないだろうか。</p> <p>多様性を認める社会を築かなければならない今こそ、社会を構成する“仲間”として“当事者の声”を届ける役割り、ステージを作らなければならぬと考えるが、町長、教育長の考えを伺う。</p> | 町長 教育長 |
| | | 3. 働く環境は、大丈夫ですか？ | <p>先日、北海学園大学で開催された「過労死等防止対策シンポジウム」において、メンタルの不調を理由にした地方公務員の休職が右肩上がりが増える一方、残っている職員の業務負担感が増大しているデータが示された。「長時間労働がメンタルに多大な影響を与える」という内容の報告もあった。過労死・過労自殺という事例はないが、「人員が足りない」「業務は増大」という事象を考えれば、八雲町も無縁とは言えない。さらに、自治労北海道本部の21年の意識調査も紹介されていたが、「職場や仕事のどこにストレスを感じるか」の問いに、「仕事の内容」と答えたのが8年前調査の1.5倍の36%と急増。「ここ2～3年、退職を考えたか」の問いに、「ある」と答えたのが6ポイント増の42%、「退職を考えた理由(複数回答可)」に、「職場の雰囲気・人間関係」41%、「仕事がおもしろくない、ヤリガイを感じない」38%、などが上がっていた。</p> <p>私が心配するのは、「トップダウンで突然仕事が降ってくる」、「指示された作業を</p> | 町長 |

| | | | | |
|--|--|--|---|--|
| | | | <p>こなしている最中に指示内容が変わる」、「自分の意見が言えない」、「自分の“考え”やアイデアを反映させる機会がない」などのヤリガイのない職場環境の事例は、八雲町役場にはないだろうか、どうですか。</p> | |
|--|--|--|---|--|

| 順序 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|-------|---------------------|--|-----|
| 3 | 赤井 睦美 | 1. 海を守るためにさらに前進を | <p>昨年行政が中心となり、黒岩方面の海岸のゴミをみんなで撤去する活動が始まりました。</p> <p>誰もが気軽に参加でき SDGs にもつながるうえ、1次産業が中心の八雲町にとっては、とても大切な取り組みだと思います。</p> <p>拾ったゴミのほとんどがプラスチックで、大きな袋で運ばれていきました。その後の処分方法までは確認していませんが、最終的には他町の専門業者により埋め立てられたものが多いとお聞きしています。</p> <p>八雲町では、海岸漂着物や泥のついたものは回収できないと聞きましたが、今は技術も大きく進歩し、漂着したプラスチックや発泡スチロールから重油や灯油を取り出したり、熱エネルギーに変えて利用したり、再生チップにするなど、いろいろな方法ができるようになっていきます。</p> <p>是非、八雲の海はもちろん、地球環境の保全を目指し、町内で処分する仕組みを取り入れることはできないでしょうか。</p> | 町長 |
| | | 2. 関係人口拡大を『チーム八雲』で！ | <p>11月の総務経済常任委員会で熊石地域の旧すまいるを購入し、関係人口拡大に活用するという話が報告されていました。大都市以外はどこも人口減少で、その対策として各自治体様々な取り組みが行われているため、熊石も必要だということは理解しています。ただ、関係人口拡大に関しては、一部の地域ではなく、八雲町全体『チーム八雲』として取り組むほうが効果的ではないかと思えます。どこの小学校も児童数が減り、来年さえも不安になるところもあります。</p> <p>そこで、名前は別としても「関係人口拡大協議会」のようなものを町全体で立ち上げ、その中に「落部チーム」「黒岩方面含む八雲チーム」「熊石チーム」を置き、常に情報共有を図りながら、それぞれの地域に応じた取り組みを展開していくことで、自分達だけでは見えない良い面や改善点が見え、活かし方も変わってくると思います。更に、持続可能な取り組みにするためにも、民間の専門的な企業にも加わってもらうことが重要です。</p> <p>総務経済常任委員会の報告の中では、『保育園留学』が中心となっているため、一業者の名前も出ていましたが、そのほかにも安平町と連携している企業や、栗山町、厚真町と連携している企業等々ありますので、そうした情報を収集しながら、八雲町にふさわしい取り組みを展開すべきと思いますが、いかがでしょうか。</p> | 町長 |

| 順序 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|-------|---|--|---------------------------------------|
| 4 | 佐藤 智子 | <p>1. JR在来線はどうなる？</p> <p>2. 黒岩の奇岩に足を運んでもらうなら</p> <p>3. 風力発電について</p> | <p>新幹線新駅予定地の整備が進んでいる。 新幹線が通るようになったら、在来線はどうなるのか。現在の駅は閉鎖になるのか。JR貨物は、11月29日に「貨物路線維持を考える有識者会議」の初会合が開かれ、2025年度中に結論を出すことになっている。旅客は廃止になるのだろうか。 新幹線札幌延伸を了承する時に、沿線自治体の首長はJR北海道から要請され、経営分離を認めた。 在来線を第3セクターで行うことは検討されるのだろうか。各自治体の財政力からすると、当然バス転換が検討されることになるが、バス業界も運転手不足で減便が相次いでいる。 鉄道は地域経済を支え、住民の通学や生活の大切な足である。バス転換を急がず、鉄路を守るために近隣町と連携して、国、道、JRに要請行動を起こすべきではないか。</p> <p>教育委員会では、「アイヌ史跡」を巡る案内看板等を設置して、町内外の人たちに史跡巡りをしてもらう計画を委託することにした。何箇所かある内には、黒岩の奇岩が含まれている。 黒岩の奇岩周辺の砂浜は、以前よりは清掃された形跡があるが、集められたゴミはそのままになっている。浮き玉や漁網の他に、水たまりにはペットボトルなどが無数にただよっている。 史跡巡りの拠点となるあの場所を、そのままに置いて良いのだろうか。</p> <p>JRE（株）が黒岩山中に15基の風車設置を計画している。予定地である黒岩は、オジロワシや町の鳥であるオオワシなど、いずれも天然記念物で国際保護鳥である鳥たちの営巣地ならびに通り道だとされている。 八雲町は、環境省が平成28年より実施した「風力発電等に係るゾーニング導入可能性検討モデル事業」に手を挙げた。その際のJRE（株）への平成29年7月の経済産業省の意見書には「鳥類に対する影響」という項目があり、「本事業の実施により、風力発電設備への衝突事故、移動経路の阻害等による鳥類の生息及び渡りへの重大な影響が懸念される」と記されている。バードストライクの恐れがある以上、風車の設置は避けるべきではないか、考えを伺う。</p> | <p>町長</p> <p>町長 教育長</p> <p>町長</p> |

| | | | | |
|--|--|------------------------------|---|----|
| | | <p>4. 介護保険制度 八雲町の場合は</p> | <p>厚生労働省は物価高騰で大変な時に、しかもポストコロナで体力が弱り介護需要が高まっているこの時に、介護保険利用料の2割負担を年金収入等で220万円以上の単身者を対象に増やそうとしている。</p> <p>現在の介護保険利用料は、年金収入280万円以上が2割負担、340万円以上が3割負担となっている。</p> <p>全日本民医連が「2割に負担が増えたら」どうするかを利用者に聞いた調査では、「施設を退所する」と答えた人が13%、「在宅サービスを控えたり中止する」と答えた人が34%もいた。サービス利用を続けられない人も出てくる恐れがある。</p> <p>利用料2割負担の他に、介護保険料値上げや老人保健施設の多床室有料化も検討されている。</p> <p>2024年の介護保険事業計画改定に向けて、高齢者とその家族が利用しやすい介護保険制度を維持できるように国に要請するとともに、八雲町としても負担を抑える考えがあるかを伺う。</p> | 町長 |
| | | <p>5. こどもまんなか公園づくり支援事業</p> | <p>国土交通省は令和6年度、子どもや子育て世帯の目線で公園整備を進めるために、自治体に対して新たな支援制度を創設するという。子育て世帯の声を整備計画に反映させるための会議開催の経費や建設費用の一部を、国が負担する内容である。</p> <p>自治体の公共事業などを支援する社会資本整備総合交付金を活用する「こどもまんなか公園づくり支援事業」は、既存の公園を改修する場合も支援する考えだという。</p> <p>遊具の充実はもちろん、第3回定例会で質問した、さらんべ公園のトイレや相生公園のトイレ改修にも使えるのではないだろうか。</p> <p>町民の声を活かした公園づくりを、ぜひとも進めるべきと思うがどうか。</p> | 町長 |

| 順序 | 氏名 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|----|------|------------------------|---|-----|
| 5 | 倉地清子 | 1. 災害時の困難を最小限にする備えについて | <p>八雲町は令和4年度に新たなハザードマップを全戸配布し、それに基づき、地域や学校を中心に防災訓練などを実施しており、災害に対する意識も高まってきているところです。</p> <p>また、令和3年7月に公表された日本海溝型地震による津波想定は、前回の想定より浸水区域が拡大していることから、新たな浸水想定に基づいた津波避難計画は改定が必要です。</p> <p>令和2年5月、内閣府男女共同参画局から、「男女共同参画の視点からの防災・復興の取り組み指針」の改訂版が公表されました。この取り組み指針の7つの基本的考え方の一つである「災害から受ける影響やニーズの男女の違いに配慮する」という項目では、女性と男性では災害から受ける影響に違いが生じることに配慮することが重要です。</p> <p>また、考え方の一つとして、「女性は防災・復興の主體的な担い手である」とはつきりと強調を示されている。</p> <p>災害は、地震・津波・風水害の自然現象、いわゆる自然要因と、それを受け止める側の社会の在り方、いわゆる社会要因により、その被害の大きさが決まってくると考えられています。</p> <p>その社会要因については、性別、年齢や障害の有無など、様々な社会的立場によって影響は異なり、社会要因による災害時の困難を最小限にすることが重要であると提示されています。</p> <p>そこで、この女性の参画について、八雲町独自の今後の対策の進め方を、どのようにしていくのかを伺います。</p> | 町長 |
| | | 2. 熊対策について | <p>近年、熊が市街地に現れて歩き回ったり、畑を荒らす被害が頻繁にあり、道南地域においても連日のようにヒグマやヒグマのものとみられる糞や足跡、道路を横断するヒグマの目撃情報が相次いでいます。</p> <p>八雲町でも緊急に対策が必要と考えます。具体的には、町民の安心安全のためにドローンの利活用が有効と思いますが、考えを伺います。</p> | 町長 |
| | | 3. 理学療法、地域包括活動について | <p>八雲総合病院のリハビリテーション室では、これまで介護予防講座の動画配信や月2回のペースで病院内での座学など、地域住民に向けて、様々な取り組みがされていました。コロナ感染拡大の影響で中止していたこの取り組みの再開や、専門的な情報を町民に提供する新たな取り組みを期待しますが、今後、地域への活動を考えているのか伺います。</p> | 町長 |

